

JOYO BANK NEWS LETTER

2026年2月6日

「第5回 Joyo High school テックコンテスト」受賞作品の決定について

常陽銀行（頭取 秋野 哲也）は、このたび「第5回 Joyo High school テックコンテスト※」の2次審査を行い、受賞作品を決定しましたので下記のとおりお知らせいたします。

当行は、今後も、将来におけるIT人材育成や新しい事業の発掘・サポートに取り組み、地域経済の活性化に貢献してまいります。

※ <参考ニュースリリース> 2025年6月6日『第5回 Joyo High school テックコンテスト』の実施について
記

【受賞先（2次審査結果）】

1. エキスパート部門（計7作品）

賞名	チーム名	所属校	作品名
最優秀賞	園部 亜唯彩	水戸第一高等学校	RUN-TREE
優秀賞	栗山 拓士	土浦日本大学中等教育学校	TNUSS 交通案内システム
奨励賞	Smart Library	IT 未来高等学校	Smart Library
	IT 教育部		RubyTech

特別賞名	チーム名	所属校	作品名
NOEX賞	三次 良知	IT 未来高等学校	ミスト・ロボット
ユードム賞	リーダーはauk		鳥の便り ～特殊詐欺対策総合ソリューション～
テック特別賞	安田 陽真	S 高等学校	HoloTrip

2. アイデア部門（計6作品）

賞名	チーム名	所属校	作品名
最優秀賞	落石 好	古河中等教育学校	古河安全避難ナビ
優秀賞	焼き芋研究室	玉造工業高等学校	究極の焼き芋メーカー
入賞	田中 雄大	IT 未来高等学校	第四種踏切安全向上システム
	Bad eyes	茨城工業高等専門学校	Food Bridge
奨励賞	TAWAYAKA pedals	つくばサイエンス高等学校	TAWAYAKA cycling System

特別賞名	チーム名	所属校	作品名
審査員長特別賞	別所 尚弥	並木中等教育学校	マナスケ(自動学習スケジューリングアプリ)

(敬称略、同一賞の場合は発表順)

※各部門の最優秀賞には茨城県教育委員会教育長賞が併せて授与されます。

※一部の受賞作品の概要は、別紙をご参照ください。

【参考】

- 募集期間 2025年6月6日～10月31日
- 審査方法 1次審査：書類選考、2次審査：プレゼンテーション（2026年1月22日）
- 応募総数 206件（前回比+87件）
- 共催 茨城県教育委員会 ○協賛 株式会社ノエックス、株式会社ユードム

以上

【一部の受賞作品の概要】

1. エキスパート部門（作品の企画力・独創性・技術力・実現可能性や有用性等を評価）

賞名	チーム名	所属校	作品名
最優秀賞	園部 垣唯彩	水戸第一高等学校	RUN-TREE (概要) 部活動の練習日誌作成における負担を解消し、競技力向上を目指すAIコーチングアプリ。対話型AIが練習の振り返りをサポートし、内容を自動で要約。努力を可視化する「成長の木」機能で生徒のモチベーションを高める。指導者は要約されたデータを効率的に確認し・助言することができ、生徒・指導者双方の課題を解決する。
優秀賞	栗山 拓士	土浦日本大学中等教育学校	TNUSS 交通案内システム (概要) 生徒や来校者向けに、交通情報と学校行事を一画面に集約するシステム。学校から駅へのバス時刻表やバスと電車の接続情報、文化祭におけるイベント情報などを定期的に更新し、昇降口モニターに反映させる仕組み。歩行速度を加味した電車時刻情報やUI(ユーザーインターフェース)に特徴がある。2025年10月の文化祭で初めて使用し、現在も継続運用中。

エキスパート部門特別賞（各評価者の基準※により選定）

賞名	チーム名	所属校	作品名
NOEX賞	三次 良知	IT未来高等学校	ミスト・ロボット (概要) AI搭載の自走式ミスト散布ロボット。従来の固定式装置では対応が難しかった「動的な行列」の変化を検知し、熱中症リスクの高い箇所へ自動で移動する。AI(YOLO)による人流判定と精密な位置制御を組み合わせ、最も冷却が必要な人々へピンポイントに涼しさを届ける、実体験から構想を得たプロダクト。
ユードム賞	リーダーはauk	IT未来高等学校	鳥の便り ～特殊詐欺対策総合ソリューション～ (概要) 特殊詐欺から高齢者を守るための詐欺対策総合ソリューション。LLM(大規模言語モデル)を用いた電話(通話)内容の解析により、リアルタイムに詐欺の可能性を検知して本人や家族へ通知。また、AIカメラでATM利用中の通話を監視し、本人に警告する機能を持つデバイスも開発。多角的アプローチで詐欺被害の撲滅を目指す。
テック特別賞	安田 陽真	S高等学校	HoloTrip (概要) AIパートナーと共に歩む新しい旅のプラットフォーム。自治体向けの観光案内をAIパートナーが行う「Business」と、個人が好みのキャラクターを旅の相棒にできる「Personal」の2軸展開。独自のAI会話プロトコルによりAI同士の安全な通信を実現。AIパートナーとの会話を通じて情報収集、思い出の振り返りが可能。

※NOEX賞、ユードム賞は、協賛企業より贈られます。

※テック特別賞は、常陽銀行から技術力が特に優れた作品に贈られます。

2. アイデア部門（作品の企画力・独創性等を評価）

賞名	チーム名	所属校	作品名
最優秀賞	落石 好	古河中等教育学校	古河安全避難ナビ (概要) GPSを活用した最寄りの避難所を即時検索できる避難支援アプリ。災害時の避難のハードルを下げる目的としており、収容人数やペット同伴の可否、冷暖房・備蓄状況といった詳細情報を集約。土地勘のない人でも最適な場所を素早く選択できる仕組みを構築し、迅速な避難行動を促す。
優秀賞	焼き芋研究室	玉造工業高等学校	究極の焼き芋メーカー (概要) 「究極の焼き芋」を追求し、科学的調査とAI・IoT技術を融合させた全自動焼き芋メーカー。100件以上の実食調査から独自の加熱方程式を導出。カメラによる物体検出で芋の太さを瞬時に判別し、最適な加熱を自動制御。インターネット経由で「今日のイモ指数」を取得し、日々の品質変化まで調理に反映させる仕組み。
入賞	田中 雄大	IT未来高等学校	第四種踏切安全向上システム (概要) 遮断機や警報器がない「第四種踏切」の事故を減らすため、運転士の視点で安全を支援するシステム。GPSと画像認識AIを活用し、踏切内の人や車を検知して運転士へ画像や音で通知。4G/5G回線特有の通信制限を中継サーバーとWebSocket技術で克服し、低コストかつ遅延の少ないリアルタイム監視の実現を目指す。
入賞	Bad eyes	茨城工業高等専門学校	Food Bridge (概要) 飲食店で発生する食品ロスと、子ども食堂の食材不足を解決するAIマッチングアプリ。飲食店が登録した余剰食材情報と、子ども食堂側の検索条件をAIが照合し、最適な組み合わせを提案。LINEを活用して通知や調整をリアルタイムで行い、効率的な食材共有ができる仕組みの構築を目指す。

アイデア部門特別賞（評価者の基準※により選定）

賞名	チーム名	所属校	作品名
審査員長 特別賞	別所 尚弥	並木中等教育学校	マナスケ(自動学習スケジューリング アプリ)

※ 審査員長特別賞は、コンテストの審査員長である大久保賢二様が理事長を務める「特定非営利活動法人 IT コーディネータ茨城」より贈られます。

【二次審査会の様子】（2026年1月22日）

当日の様子は、後日当行ホームページに掲載いたします。

なお、第1回～4回目の受賞作品のプレゼン動画等は、[こちら](#)からご確認いただけます。

【発表の様子】



エキスパート部門 最優秀賞 水戸第一高校
園部 亜唯彩さん



アイデア部門 最優秀賞 古河中等教育学校
落石 好さん



「究極の焼き芋メーカー」を披露



自作の「ミスト・ロボット」を操作・実演

第1回～4回目まで全てオンラインで実施していましたが、今回5回目は初めて対面（一部オンライン）で実施しました。当日は13チーム中10チームが本館に来場し、参加者同士や審査員・協賛企業と交流の場を持つことができました。